

2004 年度公開実習「海洋発生生化学」コースの受講学生の受講後の無記名アンケート^(注1) や独自アンケートに記載された感想を紹介します。

参加者の内訳：筑波大学第二学群生物学類、信州大学理学部生物科学科、奈良女子大学理学部生物科学科。 合計9名（女子7名、男子2名）

・とても満足している。自分が今、何を実験していて、どのような薬品を使っているのかを十分理解してから実験をすることができた。また、実験後、すぐに考察で討論があったために理解がスムーズだった。先生に質問もしやすかったし、それに対して親身になって答えてくれてうれしかった。「学ぶ」ということへの姿勢が自然と身に付く実習だと思う。

・他大学の人の積極性と知識の豊かさに触れることができ、とても良い刺激になった。考察能力のつく話し合いの展開を進めてくれた先生も尊敬した。

・発生学の授業・実習をまだ自分の大学では受講していなくて、予習も不十分だったので、新しいことばかりで慣れるまで戸惑いもあったが、実験を毎日続けるうちに、「考察の仕方」「発生学の着眼点」のようなものが分かるようになった。考察の時間はとても有意義だった。実験データから、順を追って誘導してくれる教官のやり方のおかげで考察力がついた。これからの生物学を勉強するうえで、とても役に立つと思う。毎日充実していて、参加してよかったと思う。

・今までしたことのない実験ができて楽しかった。実験室が近いし、いつも開いているので使いやすかった。空き時間に他の観察をしたりできるので、時間割りにゆとりがあってよかった。交通の便が悪く、外出しにくくて不便だった。

・目的としていた初期発生の内容を通して、**Enzyme Immunoassay** やクロマトグラフィーなどの実験手法も学べ、とても充実した。事前に送付された資料も予習などに大いに役立った。

・参加に際して抱いていた以上の実習内容に大変満足している。他大学の学生達との交流の中で、たくさんの事が得られたし、今まで行なったことのない実習の手法なども身につけることが出来たことを有意義に感じている。また、担当教官の親切で分かりやすい指導、食事等の世話等をしてくれた方々にも感謝している。

・すべてを通して、とても楽しかった。初めは知らないことばかりだったので、本当に不安だったが、説明を充分にしてもらったおかげでよく分かり、これからの学習にとっても参考になった。ディスカッションもあまりやったことがないので、実験結果に対する考えもいろいろな人の意見が聞けて新鮮だった。

・通常の大学で行なう実験と違って、考えさせられる実習だった。実験の結果について実験者（学生）と先生とでディスカッションをしたことがなかったので、いろいろな人の考察・着眼点を聞く事ができたのがとても有意義だった。また、他大学の生物を勉強している同世代の人と出会えることで、とてもよい刺激になった。また、教官あたりの学生数が少なく、丁寧な指導を受けられてよかった。スケジュールにもゆとりがあってよかった。

・来る前まではかなり不安だったが、来てみると案外できるものだと思った。でもやっぱり実験に対する計画性や技術の不足は痛いほど分かった。授業以外にも、他大学の人と友達になれた事はうれしい。実習中いろいろ迷惑をかけてしまったことをお詫びします。ありがとうございました。

・今回、初めての公開実習で、厚岸での実習にかなりの期待をして前々から楽しみにしていました。実習を終えて、レポートを書き終えた今、思い返してみると、当初の期待以上に楽しく充実した実習を体験できたと感じられます。本当に楽しかったです。

注1：全国臨海臨湖実験所所長会議によるアンケートによる。